

なら歴史芸術文化村滞在アーティスト誘致交流事業 「文化村 AIR」令和5年度報告展 概要報告

【展覧会概要】

作家名:杉原信幸 × 中村綾花

会期:2024年5月15日(水)～5月22日(水)

時間:10:00～16:00

休廊日:なし

主催:なら歴史芸術文化村滞在アーティスト誘致交流事業実行委員会

【展覧会概要テキスト】

令和5年度 なら歴史芸術文化村滞在アーティスト誘致交流事業 「文化村 AIR」においてアーティストが制作した作品の一部を天理市、桜井市にて展示を行います。(桜井市は終了済)本来、滞在中制作した作品はアーティストが持ち帰ることになっていましたが、「今回の作品は地域の方々から集められた古い着物を使用して制作されたものであり、作品として生まれ変わり、思いが宿った作品をもう一度見てほしい。」というアーティストの希望があり、活動内容を含めたパネルと共に報告展として展示いたします。

【作家プロフィール】 (一部抜粋)

杉原信幸 × 中村綾花

生活と結びつく手仕事を行う帽子作家の中村綾花と美術家の杉原信幸のユニット。民俗、考古などの側面から土地の歴史や文化の調査を行い、土地の記憶の欠片を繋ぎ合わせることで、土地に宿っている形を造形化し、その創作行為から生まれる身体による即興の舞を行います。土地の文化を受け継ぎ、生活とアートが分けられる以前の豊かな精神性と身体性を蘇らせることで生活と美しさのともにある文化を呼び覚まします。わたしを超えて、地が語り始めること、それこそが表現です。台湾、インドネシア、マレーシア、カナダと先住民の調査を続けることで、先住民が常に祖先と繋がる表現を行っていることに気づき、祖先との繋がりとは何かということ、自らのルーツとしての海の道、縄文文化を辿りながら、船、山、器、面などをテーマに様々な土地の文化を学びながら制作と考察を続け活動しています。

【展覧会の様子】

